

## 野外活動プログラム

活動名	(6) ウォークラリー (WR)			
内容	グループで「コマ図」をたよりにコースを歩き、得点やタイムを競うゲームです。ポイントに問題を設定することもできます。自然を感じながら、各グループで協力して活動します。			
条件	場所	WR コース (右回り, 左回り) ミニ WR コース	対象	小学生以上
	時間	WR コース …2 時間程度 ミニ WR コース …15 分程度	人数	5 人以上 (1 グループ 5 人位が良い) 単独行は禁止
	時期	通年	天候	小雨可
期待される教育効果	<p>(1) 自然の中で、仲間と楽しみながら親睦を図る。</p> <p>(2) グループワークを通して心を育む。(リーダーシップ, コミュニケーション, 協力)</p> <p>(3) 野外でさまざまな動植物にふれることにより、自然に親しむ心を育む。</p>			
準備物	自然の家が貸し出す物 <u>◇は返却不要</u>		団体が準備する物	
	<input type="checkbox"/> 無線機 <input type="checkbox"/> ゼッケン <input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> バインダー <input type="checkbox"/> 解答マップ <input checked="" type="checkbox"/> WR マップ (コマ図)		<input type="checkbox"/> 動きやすい服装 (長袖, 長ズボン, 運動靴) <input type="checkbox"/> リュック <input type="checkbox"/> 水筒 <input type="checkbox"/> 帽子 <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 時計 <input type="checkbox"/> 雨がっぱ (雨天時) <input type="checkbox"/> 救急用品 ( <input type="checkbox"/> 非常用ホイッスル)	
展開	<p><b>1. 事前 (準備)</b></p> <p>(1) コース、回る向き、使用するマップを決定する。            ※WR コースには、コマ図の中の情報量が異なる「通常マップ」と「HARD マップ」があります。            ※ミニ WR コースは、実際に WR を実施する前の練習に最適なコースです。</p> <p>(2) 事前に下見を行い、危険箇所や所要時間等の把握をする。</p> <p>(3) 自然の家職員と安全管理方法について打合せをする。            ①危険箇所に引率が立ち、エリア内で子供たちのみの班活動をする。            ②各班に 1 名の引率者がつき、班活動をする。</p> <p>(4) 活動計画書を提出する。(コース、隊列、引率者の配置等)</p> <p>(5) 当日の天候を見て、自然の家の職員と相談の上、実施の判断をする。</p> <p><b>2. 活動</b></p> <p>(1) 代表者は自然の家職員から安全指導時に無線機、マップ等を受け取る。</p> <p>(2) 集合し、点呼及び健康観察を行う。</p> <p>(3) 安全面に関する注意と、ルールや課題、マナー等についての話を聞く。</p> <p>(4) グループごとに時間を空けて (5~10 分間隔)、順次出発する。</p> <p>(5) 休憩は多めにとり、水分補給、健康観察を都度行う。</p> <p>(6) 事故や行方不明が出た場合は、ただちに自然の家に無線連絡を行う。</p> <p>(7) ゴール後、引率者は時間得点と課題得点を合算した総得点を記録する。</p> <p><b>3. 事後 (片付け)</b></p> <p>(1) 自然の家に帰着後、集合し、点呼及び健康観察を行う。</p> <p>(2) 靴の泥を落とし、必要に応じて更衣をする。</p> <p>(3) 代表者は事務室に無線機、貸出物品を返却する。</p>			
安全管理ポイント	<input type="checkbox"/> 実施の可否は、自然の家職員と相談の上で決定する。 <input type="checkbox"/> 各グループに 1 名の引率者がつき、後方からグループの様子を観察しながら同行するのが望ましい。引率者の人数に余裕がない場合は、引率者を要所に配置する。参加者には、引率者がどのポイント (コマ図) にいるかを伝え、緊急事態が発生した場合は、そこに行くようにする。引率者は無線機や携帯電話で連絡が取れるようにする。 <input type="checkbox"/> 蛇や蜂、猪などの危険動物や危険植物に注意する。 <input type="checkbox"/> 単独行動は絶対にしないよう指導を行う。 <input type="checkbox"/> けがや体調不良で動けない者が出た場合は、団体の救護車で搬送するか、自然の家に連絡し、指示されたポイントで待つ。			

**ウォークラリーについて（進め方、時間設定、コース設定）**

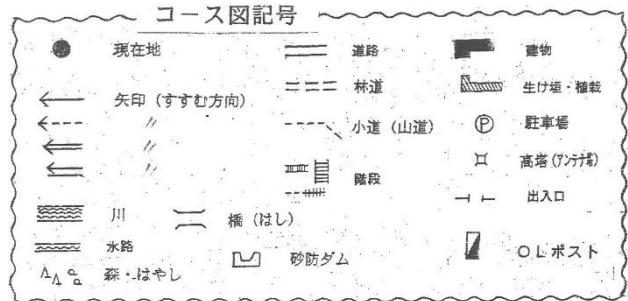
**進め方**

**1. ウォークラリーとは**

- (1) マップの情報を基に、グループで課題を解決しながらコースを回るゲームです。
- (2) マップには、スタートからゴールまでの道順の一部を切り取ったもの（コマ図／下図参照）が順番に並んでいます。
- (3) コマ図には、コース内の交差点や分岐点を書き表しています。
- (4) 複数のグループで実施する場合は、時間差（5～10分間隔）でスタートします。
- (5) 途中で課題を解決します。
- (6) 順位づけは、時間得点と課題得点の合算で行います。
- (7) 時間得点は、設定された規定時間から遅れるごとに減点していく方法と、遅れても速くても減点していく方法があります。  
※規定時間は、参加者の年齢、体力等を考慮して、各団体で設定します。
- (8) 課題は、どのマップにもあらかじめ設定されていますが、団体独自で設定することも可能です。

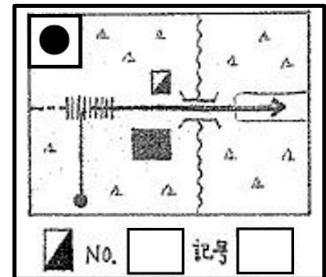
**2. コマ図の見かた**

- (1) 右の一覧は、コマ図の中にある、目印になるものの記号です。



- (2) 一覧を基に、右のコマ図を読み解くと次のようになります。（「●」が現在地）

- ◇森の中を進んでいくと「階段」があるので、そこで右に曲がる。
- ◇進んでいくと左に「OLポスト」右に「たてもの」があるので、ポストの番号と記号を記録する。
- ◇さらに進むと橋があるので、橋を渡って進む。



**時間設定**

- (1) 活動時間の設定は、事前に諫早自然の家の職員とご相談ください。行方不明者捜索が生じることを想定し、15時までに集合できる時間設定を推奨する。
- (2) 事前に下見をして、規定時間や追加の課題を設定することを推奨します。その際、休憩時間も含め、余裕をもって時間設定することが大切です。
- (3) 活動時間は、参加するグループ数や実施方法（グループの出発間隔等）で異なります。次の計算方法を参考にしてください。

$$\text{活動時間} = \text{事前説明 (20分)} + (\text{出発間隔時間} \times \text{グループ数}) + \text{規定時間} + \text{まとめの時間 (30分)}$$

**コースマップ設定**

- (1) WRには、1つのルートを「右回り」「左回り」する2つのコースと、実際にWRを実施する前の練習に最適な「ミニWRコース」があります。  
※「右回り」「左回り」コースはどちらも2時間程度、「ミニWRコース」は15分程度でゴールできます。
- (2) 「右回り」「左回り」コースにはコマ図の中の情報量が異なる「通常マップ」と「HARDマップ」があり、参加者の年齢、体力等を考慮して選択します。
- (3) 参加するグループ数が多い団体は、「右回り」「左回り」を半数ずつ実施することで、グループの待ち時間を抑えることができます。